

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008門第25号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成20年9月22日 06時00分ごろ	
発生場所	福岡県福岡市北方沖 福岡市小呂島港西2号防波堤灯台から真方位343° 9.4海里付近 (概位 北緯34° 00.8′ 東経129° 58.8′)	
事故等調査の経過	平成20年10月1日、本事故の調査を門司地方海難審判理事所から引き継ぎ、担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 ^{スカイ エクスプレス} SKY EXPRESS (パナマ共和国)、3,907トン 9302803 (IMO番号)、MUSASHINO SHIPHOLDING S.A. B 漁船 ^{しゅんよう} 順洋丸、14トン FO2-6067 (漁船登録番号)、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 一等航海士A、外国免状 B 船長B、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷船尾部外板に擦過傷 B 船首部に亀裂を含む折損及び凹損	
事故等の経過	A船は、一等航海士Aが船橋当直に当たり、小呂島北方沖を東進中、B船は、船長Bほか2人が乗り組み、船長Bが船橋当直に当たり、漁場に向けて北西進中、平成20年9月22日06時00分ごろ、A船の右舷船尾部とB船の船首部とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし、視界 良好 海象：海面状況 静穏	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A 不明、B あり A 不明、B なし なし A船は、小呂島北方沖を東進中、前路を左方に横切るB船の進路を避けず、衝突直前に左転したものの、B船と衝突したものと考えられるが、一等航海士Aの口述が得られなかったことから、その理由を明らかにすることはできなかった。 B船は、航行に危険な他船が接近してきたなら、僚船が連絡してくれると思い込み、適切な見張りを行っていなかったため、A船の存在と接近に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、小呂島北方沖において、A船が東進中、B船が北西進中、A船が、前路を左方に横切るB船の進路を避けず、また、B船が、適切な見張りを行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと	

	考えられる。
--	--------